

## バイオマス・ニッポン in 九州の報告

九州地域バイオマス関係機関連絡会議では、平成 20 年 10 月 22 日から 3 日間、西日本総合展示場（北九州市）で開催されたエコテクノ 2008 のフェア in フェアとして、「バイオマス・ニッポン in 九州」ブースを設置し、九州地域のバイオスタウンとバイオマス利活用施設を紹介したパネルやバイオマスプラスチックに関するビデオ放映など、バイオマスの利活用に関する普及・啓発を行いました。展示したパネル及び展示物は次のとおりです。



九州地域バイオマス関係機関連絡会議	九州地域バイオマス利活用推進の体制と役割、九州でのバイオマスの先進的取り組み
九州経済産業局	九州地域新エネマップ、経済産業省バイオマス支援事業、バイオ燃料のいま
九州農政局	国産バイオ燃料の生産拡大、農林漁業バイオ燃料法
佐賀県	佐賀県内事業所の取組
(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	サツマイモのカスケード利用、高バイオマス量サトウキビ、パイナップル果皮を利用した酢、焼酎廃液を利用したパン
(独) 産業技術総合研究所 九州センター	セルロース系原料からエタノール生産、水熱処理による成分分離
(独) 農林水産消費安全技術センター 福岡センター	肥料・飼料の立入検査、肥料の登録申請、フードチェーンの安全と信頼の確保

最終日の 10 月 24 日には、食料と競合しないバイオ燃料の推進をテーマにセミナーを開催し、基調講演では、東京大学・鮫島教授から本年 3 月に策定された「バイオ燃料技術革新計画」について、午後は、農林水産省の「農林漁業バイオ燃料法」の説明に続き、バイオエタノール、バイオディーゼル燃料、バイオガス、木質ペレットの実証及び実用化に向けた事例を発表していただきました。約 320 名の参加がありました。

